



手と手

やさしさ
100パーセント

第14回曾於市社会福祉大会福祉ポスター小学生の部
最優秀賞
作品名「いつもありがとう」

「見守りたいのみなさん、

いつも見守りありがとうございます。」

曾於市立柳迫小学校 三年 園田そのだ結凛ゆいりさん



主な内容

第14回曾於市社会福祉大会	P 2
社会福祉法人連絡会開催	P 9
校区公民館長及び校区社会福祉協議会会長合同連絡会	
元気高齢者等介護職場インターンシップ事業（職場体験）の募集について	P 10
曾於市地域包括支援センターより	
一般介護予防事業転倒予防教室について	
心配ごと相談及び弁護士相談開設予定	P 11
藤尾法律事務所による無料法律相談	
お掃除サポート事業のお知らせ	
寄付金品等報告	P 12

理念 人と人との
つながりを大切に
地域と共に歩む

発行 / 社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会
曾於市財部町南俣 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)
TEL:0986-72-0460・0480 FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:<http://soo-shakyo.or.jp/>

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。



社大会 ちづくり

開催日:平成30年8月26日(日)
開催場所:末吉総合センター

平成30年8月26日(日)末吉総合センターで、第14回曾於市社会福祉大会を開催しました。

多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえとともに、曾於市の福祉のまちづくりの推進を図るため、地域住民や福祉関係者一人ひとりが「人にやさしいまちづくり」について共に考える機会となりました。

講演 住民流助け合い起こし ～見守りから生活支援へ～



講師 住民流福祉総合研究所
所長 木原 孝久 氏



バザーコーナー・
各種団体施設による
ブースコーナー





第14回曾於市社会福 みんなの力で 人にやさしいま

来賓祝辞



鹿児島県社会福祉協議会
会長 山田 裕章氏



曾於市議会議長
原田 賢一郎氏



鹿児島県議会議員
瀬戸口 三郎氏



曾於市社会福祉協議会
会長表彰



曾於市長寿クラブ連合会
会長表彰



8020達成者市長表彰

開催趣旨朗読

今園 和美氏



被表彰者謝辞

福岡 勝氏



地域福祉活動報告



最優秀福祉作文・ 福祉ポスター 表彰及び作文発表



長表彰、福祉作文及びポスター表彰が行われました。受賞者を代表して、福岡勝様が謝辞を述べられました。



曾於市長寿クラブ連合会会長表彰（敬称略）

長年にわたり、役員として貢献された方 3名

隈元 信久 宮路 茂雄 原口 輝男

8020 達成者市長表彰（敬称略）

80歳以上で20本以上の歯をもち、歯と口の健康づくりの模範となる方 33名

加世田ユキエ	佐藤 政止	塘 ナツ子	内村 優	古手川カズ子
馬庭 周一	永吉 利美	中村ヒサ子	馬庭 常子	増元 康夫
上村 時盛	中原 義輝	川村 次男	内村 セキ	久木田文雄
大川内イチ子	津留与三郎	岩切 怜子	津留 軍治	佐野サキ子
岩切 良虎	中島 律子	大休寺シヅ子	山下 義徳	森園 育
西富八重子	濱崎 ヨシ	末川 正光	岩井田禮子	吉松 壽久
新 ナリ子	丸野マスエ	田原 清美		



末吉中学校 3年
曾於高等学校 2年

奨励賞 35名

諏訪小学校 6年
恒吉小学校 6年
諏訪小学校 5年
財部小学校 5年
光神小学校 4年
月野小学校 4年
諏訪小学校 3年
恒吉小学校 3年
諏訪小学校 2年
柳迫小学校 2年
末吉中学校 3年
曾於高等学校 2年

入選 30名

恒吉小学校 6年
大隅南小学校 5年
財部小学校 5年
末吉小学校 4年
諏訪小学校 4年
月野小学校 4年
光神小学校 2年
月野小学校 2年
月野小学校 2年
月野小学校 1年

永窪瑠々茜
原村 幸菜

原田 愛唯
山ノ内友美
栗屋 魁明
横井 詩月
桐野 杏
三島 巧雅
原田 望愛
馬方 悠七
大迫 みお
西元 愛花
永田 陽菜
宮園 渉太

税所 廉
坂口 祐斗
池田 秀作
吉村 彩芽
新原 美樹
瀬戸口康介
地主園彩斗
岩下 大翔
瀬戸口るか
上村 桜太

末吉中学校 3年

恒吉小学校 6年
月野小学校 6年
光神小学校 5年
財部小学校 5年
柳迫小学校 4年
月野小学校 4年
光神小学校 3年
月野小学校 3年
楳小学校 2年
大隅南小学校 2年
曾於高等学校 2年
曾於高等学校 2年

光神小学校 5年
財部小学校 5年
財部小学校 5年
末吉小学校 4年
諏訪小学校 4年
月野小学校 3年
月野小学校 2年
月野小学校 2年
深川小学校 1年
曾於高等学校 2年

和泉 鈴

中原 啓介
川畑 夢乃
栄留 琉生
野田 羽月
迫 零来
堤内 大心
肝付 裕太
原田純之介
永田愛華里
村下 千夏
永岡 俊樹
脇元 悠成

柞木 琉衣
平田 彩莉
住吉 琉玖
前畑さあや
福留光一郎
豊田 翁史
秋山 碧
乙藤 絃揮
大迫 拓永
梅畑 翔希

曾於高等学校 2年 坂口 汐璃

恒吉小学校 6年
諏訪小学校 5年
恒吉小学校 5年
財部小学校 5年
大隅南小学校 4年
月野小学校 4年
恒吉小学校 3年
月野小学校 3年
光神小学校 2年
末吉中学校 3年
曾於高等学校 2年

岩南小学校 5年
財部小学校 5年
財部小学校 5年
末吉小学校 4年
月野小学校 4年
末吉小学校 2年
月野小学校 2年
月野小学校 2年
大隅南小学校 1年
曾於高等学校 2年

橋元 宗司
池田 海斗
新留 綾華
渡邊 美沙
中島 美咲
宅野さとり
新留 隼斗
津田 妃葵
竹ノ井蕾花
峯崎龍魅華
永山 颯人
森 大和
濱田琉貴亜
四位 日咲
寺山 侑吾
持富 紗希
月野 夢翔
天辰 輝音
津田 悠斗
青木 一朗
黒木 遼

永年にわたり地域福祉活動に功績のあった方々への社会福祉協議会会長表彰、福祉団体長表彰、8020 達成者市

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会 会長表彰

●表彰の部● (敬称略)

民生委員・児童委員 1名

民生委員・児童委員として、長年その職務に従事し、功績があった方
原田 妙子

社会福祉団体等の役職員 13名

社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方
徳田 郁郎 山下 義徳 吉永 辰美 土橋 儀光 福岡 勝 徳田 義博
川村 涼子 西村 佳代 永山よし子 田畑るみ子 牧之瀬ひとみ
竹内 瑞江 田脇ひとみ

在宅福祉アドバイザー 11名

在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方
西山 勲 田口 敏子 大園まち子 鳴海 昭子
内田 元子 山平トミ子 笠木 勝子 新穂 輝子 脇田れい子
上田 洋子 原 むつ子

地域篤行者 1名

地域福祉社会のなかで、その篤行が顕著であり、特に市民の模範となるにふさわしい方
二田 重信

●感謝の部● (敬称略)

献身的介護者 1名

長年にわたり、献身的に介護されている方
小倉 良江



福祉作文・ポスター表彰

●福祉作文部門● (敬称略)

最優秀賞 2名

柳迫小学校 5年 満倉 湘大 大隅中学校 2年 戸越 和望

優秀賞 6名

財部小学校 6年 増田羽来々 財部小学校 6年 江田 大翔 光神小学校 2年 地主園彩斗
大隅中学校 3年 中村 彩乃 末吉中学校 2年 松本 陽菜 大隅中学校 2年 大城 真歩

入選 17名

光神小学校 6年 山田 一輝 岩北小学校 6年 山口 瑚晴 恒吉小学校 6年 山ノ内友美
財部小学校 6年 上野 叶琉 財部小学校 6年 井上 寧彩 財部小学校 6年 加藤 里桜
諏訪小学校 4年 平田 愛優 光神小学校 2年 郡山 愛優 大隅中学校 3年 中島 大介
大隅中学校 3年 三坂 佳賞 大隅中学校 3年 梅畑 未来 大隅中学校 2年 上野 綾奈
末吉中学校 1年 福丸 善尊 大隅中学校 1年 牧原亜由奈 大隅中学校 1年 谷口 心音
大隅中学校 1年 二之宮すず 一般 白鳥 明信

●福祉ポスター部門● (敬称略)

最優秀賞 4名

柳迫小学校 3年 園田 結凜 末吉中学校 3年 谷川 日菜 曾於高等学校 2年 東 晴菜
曾於高等学校 2年 湯前 美幸

優秀賞 25名

諏訪小学校 6年 淵合 駿介 諏訪小学校 6年 勝山 遥太 光神小学校 6年 山田 一輝
柳迫小学校 6年 中野 暖々 諏訪小学校 5年 別府 隆幸 諏訪小学校 5年 西 美菜
光神小学校 5年 地主園和奏 柳迫小学校 5年 草ノ瀬 諒 財部小学校 5年 八ヶ代由衣
財部小学校 5年 南園 梨緒 財部小学校 5年 黒木 将太 財部小学校 5年 中崎 陽菜
財部小学校 5年 東園 世夏 末吉小学校 4年 山下 璃真 末吉小学校 4年 釘田 理心
岩南小学校 4年 須田玲央奈 深川小学校 3年 鎌田旺乃介 恒吉小学校 3年 橋元 拓斗
月野小学校 3年 吉岡 滯音 光神小学校 2年 郡山 愛優 財部北小学校 2年 池田 柚稀



最優秀賞福祉作文【小学生の部】

「ぼくにもできる思いやり」

曾於市立柳迫小学校 五年 満倉 湘大
みづくら しょうだい

先日、ぼくは、母と病院へ行った。その日はいつになく待合室がいっぱい混み合っていた。なかなか席は空かず、四十分ほどたつて、ようやく席が空きやつとすわることが出来た。ぼくは棒のようになった足をさすりながらマンガを読んでいると、母が、「ねえ。あの人に席をゆずろうか。」とそつと耳打ちしてきた。ぼくは「またか。せっかくすわつたのに。」と思いつながらだまつて立ち上がった。母が席をゆずるのはめづらしいことではない。やつとすわることが出来ても、いつもこうなるのだ。

ぼくが、よほどいやな顔をしていたのか、帰りの車の中で、母は急にぼくの生まれた時の話を始めた。ぼくは、三千九百グラムと、人より少し大きめで生まれた。重いぼくを母はいつも抱きかかえていたため、三ヶ月の間に歯が二本も欠けてしまったそうだ。歯科医の先生に、

「これからは、あまり重たいものは持たないでください。」
と言われたほどだ。でも、ぼくは、抱っこしていきなすとすぐに泣く子だったので、大変だったそうだ。それでも、買い物や病院通いで困らなかつたのは、母の様子を見かねて、「ここ、よかつた

らどうぞ。」と、席をゆずってもらつたり、「少しの間、抱っこしてあげましょうか。」とやさしい言葉をかけてもらつたりしたからだということだった。手を洗う時や病院の受付で書き物をする時、また、買い物でレジに並んでいる時にも、「先にどうぞ。」と順番をゆずってもらつたり、ぼくが持っていたおもちゃを落とした時にも拾ってもらつたりと、それまでは簡単に出来ていたことが出来なくて困つたとき、周りのやさしさや思いやりがどんなに嬉しくて助けられたことか身にしみたと話してくれた。母からその話を聞いて「席をゆずるのがいやだなあ。」と思つていたことが少しはずかしくなつた。

ぼくは、ふだんから人への気配りが苦手だと感じている。ある時、二年生がそうじ道具入れのフックが高く、ほうきをかけられなくて困つていた。すると、四年生が気付く、さつと手を差し伸べていっしょにかけてあげた。ぼくは、こんな風に、気付いてもはずかしくて手助けできないことや、気付いているのに自分のことを優先して後回しにすることが多い。だから、まずは、困っている人に気付く人間、そして、自分のことより先に人のことを考えて行動できる「ぼくにもできる思いやり」をはずかしがらずに出来る人間にならなければと思つた。

これからも、母は困っている人に席をゆずるだろう。でも、今後は、母より先に笑顔で席をゆずりたい。それが「ぼくにもできる思いやり」の第一歩につながると信じている。



最優秀賞福祉作文 【中学生の部】

「私にくれたもの」

曾於市立大隅中学校 二年 戸越 とごし 和望 なごみ

「はい。どうぞ。」この言葉を聞いて、あなたは、どんなことを思うだろうか。よく聞く言葉。何も思わない人の方が多いだろう。だけど、私にとっては、曾祖父との大事な合言葉だった。

今から、十四年前、私が生まれた年。曾祖父が倒れた。脳梗塞でだったらしい。それまでは山に行くことが好きだった曾祖父。生き物、植物のことをたくさんしっていて、母たちに、色々教えてくれたそう。

それから、四年後、私が物心ついた時には、右手、右足が不自由になり、話すことも出来なかった。そこで、「はい、どうぞ」という私と曾祖父の大切な言葉が生まれた。ご飯の時間になると、スプーンやご飯を持って、「はい、どうぞ」と持っていった。すると曾祖父は、笑ってくれた。私はその顔が大好きだった。

その頃から曾祖父は、デイサービスに行っていた。家まで迎えに来てくれたバスには、他のお年寄りも乗っていた。私が見送りに行くと、他のおじいちゃん、おばあちゃんも、すごく笑って、手を振ってくれた。デイサービスから帰って来た時も同じだった。私はすごくうれしかった。

その二年後の冬。曾祖父が亡くなった。私は、六才。すっごく悲しかった。私が、テレビ番組の音楽に合わせておどると、左手で拍手してくれた。私や、妹に、危険なことがあると、不自由な体で助けってくれようとした。振り返ると、とても優しい曾祖父だった。

曾祖父が亡くなって、七年。今でも、曾祖父のことを覚えている。中学二年生の私は、この間「小さな手袋」を習った。読みながら曾祖父と、物語に出てくるおばあさんに似ていた。そして、ひさしぶりに、曾祖父にもらった、ぬり絵を見てみた。涙が出てきた。利き手じゃない左手で、長い時間をかけてぬったそう。とても、ていねいにぬっていた。今私がぬるよりもきれいだ。

このごろ、ニュースで高れい化社会の話題が多い。介護の大変さや、高れい者による、交通事故。だいたいマイナスなイメージのニュースだ。けれど私は、曾祖父のおかげで介護の大変さだけでなく、おじいちゃん、おばあちゃんの優しさ、いてくれるだけで周りが明るくなるのを私は知っている。

介護は大変。たしかにそうかもしれない。でも、うれしいこともあることを周りの人に知ってもらいたい。もう一度曾祖父に会えるとしたら、今になって分かる感謝も込めて「ありがとう」と言いたい。

講演

大会後半では、木原孝久先生（住民流福祉総合研究所所長）から「住民流助け合い起こし～見守りから生活支援へ～」と題して、講演をいただきました。

木原先生は40年以上、全国をまたにかけ、支え合いマップの作成を通して地域づくりを支援されてきた方です。マップづくりといえば地図を完成させて終わってしまいがちですが、

そこで発見した課題を解決するための主体的な活動が生まれるところまで考えるのが「支え合いマップ」。誰もが安心して暮らせるようにご近所さんが中心になって、ふれあいや助け合いの実態を住宅地図に乗せ、そこから生活課題を抽出し、ご近所さん主体で解決に取り組みます。

助ける側には「詮索してお節介をし、こじ開ける」ことが、助けられる側には「自分をオープンにして助けて！と言えるようになり、助けられ上手になる」ことが大きなカギになるというメッセージがありました。気さくな語り口調で発せられたこのメッセージは多くの参加者に響いたようです。

8月1日には、鹿児島県社会福祉協議会内に「鹿児島県ご近所支え合いマップセンター」がオープンし、県内での取組が本格的に始まっています。本会の地域福祉コーディネーターもそのお手伝いができますので、お気軽に御相談ください。



地域福祉活動報告及びまとめ



地域福祉活動報告では、ミニデイ活動についてにこにこデイ代表の福森敏子氏、社会福祉法人の地域における公益的な取組みである買い物支援事業に関して社会福祉法人白鳥会の山崎義久氏、住民参加型福祉サービス事業ほっとサービスについて協力会員の阿多洋子氏の3名から発表がありました。

週一で活動するミニデイの係の方は大変ではないかと木原先生も心配されましたが、自分たちの楽しみにつながっているというお話が出たり、買い物支援では大工道具の大きいものを購入できて、生活に意欲が出たというお話、結婚式に出席するためのほっとサービスによるお手伝いでは依頼者に喜んでいただくやりがいや魅力についてのお話がありました。

3名の方の活動報告を熱心に聴き入る皆さんの様子が印象的で、身近なところで行われている活動の理解と実情を知っていただく良い機会になりました。



サマーボランティア体験活動 2018「地域で守る命の講座」を開催

夏休み期間中、岩北小学校、大隅南小学校、中谷小学校でそれぞれ「地域で守る命の講座」を開催しました。

昨今、台風や豪雨、地震災害が発生し、多くの命が失われています。一人ひとりの命を守るために、自分たちで、そして地域でできることはないか、考えるきっかけとなる講座になりました。

小学生、学校関係者、校区社協、公民館、消防団、在宅福祉アドバイザー、日赤奉仕団などの参加協力をいただき、日本赤十字社鹿児島県支部の砂原加津代氏からは、「風水害について」の講話をしていただきました。増水した川、山やがけには近づかない、そして自分の命を守ることが大事であるとのお話がありました。その後、学校周辺にはどのような危険個所があるか、地域の方と実際に歩き、現地を確認しました。

子ども達からは、「側溝の水があふれないよう日頃から学校周辺のごみを拾ったり、落ち葉の掃除をしたい。」「高齢者や一人暮らしの方に普段から話しかけておくことで、いざ避難をするときに一緒に避難できる。」などの意見がでました。また、地域の方からは、「危険個所を確認できたことで、子ども達と災害時の行動などの話ができ、大変良かった。」など、子どもから大人まで、色々な学びができた講座になりました。

お昼は、災害時の非常炊き出し体験でできたご飯と手作りのおかずをいただきながら講座をふり返り、全日程を終了しました。



大隅南小学校（炊き出し体験）



中谷小学校（日赤県支部の講話）



岩北小学校（地域を歩いて危険個所確認）

平成30年度 第一回社会福祉法人連絡会



7月27日、曾於市内の社会福祉法人10法人16名の方に参加をいただき、第1回社会福祉法人連絡会を開催しました。

大牟田市社会福祉協議会事務局長の内田勉氏とソーシャルワーカーの前田佳宏氏より、「大牟田市における社会福祉法人の公益的な取組について」と題して、大牟田市の現状を踏まえての活動事例を、映像を用いてお話いただきました。

その後のグループワークでは、講演を踏まえて曾於市の現状や課題について、法人それぞれの立場から意見交換が行われました。困りごとの把握や横の連携を密にしていくことが重要との声があり、課題を共有する機会となりました。今後も、この連絡会を通じて市内の社会福祉法人間の連携を深め、課題解決につながる地域貢献活動に取り組んでいきます。

校区・地区公民館長及び 校区社会福祉協議会長合同連絡会を開催

8月28日、校区公民館長及び校区社会福祉協議会長合同連絡会を開催しました。

宮崎県都城市立五十市中学校校長 玉利勇二先生を講師にお迎えし、「コミュニティスクールと福祉教育の実践について」と題してお話いただきました。玉利先生は文部科学省が委嘱したコミュニティスクール推進員として保護者や地域住民との協働による学校づくりに取り組んでおられます。

今回の連絡会で、福祉教育の原点に立ち返ることができました。人を幸せにし、より良く生きること、他者との違いを認めあい、共に生きる力を培うこと、その為に今の自分に何ができるのか考え、行動することなどを目指して、学校や地域の方の力、そして、福祉専門職としての力を合わせながら、福祉のまちを築いていきたいと思ひます。



元気高齢者等介護職場インターンシップ事業 (職場体験) の募集について



元気なシニアが持っている能力を活かし、就業できる場や社会参加できる場の創出、生きがいづくりなどを目的に、職場体験が実施されます。曾於市では2施設で開催されます。

- 募集対象者 : 55歳以上の健康な方、介護施設での就労に関心のある方
- 体験期間 : 5日間 (1日3時間程度)
- 体験内容 : 生活介護の一部など (技能や経験に応じた仕事を相談しながら決定します)
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : 社会福祉協議会へご連絡ください
- 申込締切日 : 開催日3日前まで

曾於市地域包括支援センターより

地域包括支援センターには、「地域住民の身心の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う」という役割があります。曾於市地域包括支援センターでは、介護予防健康増進の普及啓発活動の一環として地域サロンや高齢者学級に、保健師等が出向いて健康講座を行っています。

内容は、「転倒予防」「認知症予防」「介護保険に関すること」など…。

リクエストにも応じています。多くの地域に出向いて皆さんとお会いできればと思っていますので、ご希望がありましたらお問合せください。



曾於市地域包括支援センター 0986-76-8824

一般介護予防事業 転倒予防教室について

各地域で転倒予防教室を開催し、高齢者等の介護予防に取り組んでいます。

曾於市社協では曾於市より依頼を受けて、地域の高齢者の介護予防と住民主体の通いの場を充実することを目的として、自治会単位で転倒予防教室を実施しています。

- 【実施場所】** 歩いて通える距離の地域の自治会公民館等で行います。
- 【対象者】** 地域のすべての高齢者が対象となります。
- 【体操内容】** ストレッチ体操やゴムバンドを使った体操など約1時間程度の運動を行います。
- 【実施期間】** 週1回定期的に開催し、3か月間継続して行います。
- 【運営方法】** 本会スタッフが2カ月間、地域の公民館等で体操等を指導します。
3カ月目は、地域のボランティアの方々を中心となって体操を行います。

※この事業終了後も、地域住民の方々为主体となって活動を継続することもできます。
転倒予防教室を地域で取り組んでみたい方は、下記までご連絡ください。

曾於市社会福祉協議会 地域福祉課 本 所 0986-72-0460 末吉支所 0986-76-2224
大隅支所 099-482-3013

心配ごと相談所開設のお知らせ

と き 毎月第2・第4木曜日（平成30年4月から）9：30～12：00

と ころ 【財部】財部保健福祉センター 【末吉】末吉中央公民館 【大隅】大隅中央公民館

開設日	9月27日	10月11日	10月25日	11月8日	11月22日
財 部	柳田・橋本	上村・鎌原	児玉・橋本	柳田・棚木原	上村・児玉
末 吉	竹石・羽嶋	山内・吉田	田代・羽嶋	竹石・吉田	山内・田代
大 隅	佐伯・大村	鮫島・上門	山口・大村	大村・佐伯	鮫島・山口



ひとりで悩まないで 弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会場	大隅弥五郎伝説の里	財部保健福祉センター	そお生きいき健康センター
相談日時	9月20日 13:00～16:00	10月18日 13:00～16:00	11月15日 13:00～16:00

○相談料：無料です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：事前に予約が必要です。

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

☎099-227-0041（受付：平日9時～17時）鹿児島市山下町12番17号2階

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	毎月第2火曜日 13:00～15:00	毎月第3火曜日 18:00～20:00

○相談料：無料です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー 藤尾法律事務所 末吉支所

☎0986-51-9830 曾於市末吉町本町1-4-5

お掃除サポート事業のご案内

この事業は、曾於市内で暮らす障がいをお持ちの方を対象に、年末年始のご自宅の掃除をお手伝いするものです。皆様からご協力いただいた赤い羽根共同募金のうち歳末たすけあい募金を財源に曾於市社会福祉協議会が助成を受けて行います。高いところや細かな部分まで手が回らず、お困りのことはないでしょうか。ぜひ「お掃除サポート事業」の利用をご検討ください。

事業の対象を教えてください。

障がい児・者（手帳保持者）がお住いのご自宅が対象になり、85件を予定しています。

そうじしてもらえる時期は、いつごろになりますか？

10月1日から平成31年1月31日までの期間で、個別に調整して日程を決めます。

誰がどこをどのくらい掃除してくれますか？

- ・専門業者の清掃員2名が、ご自宅の掃除をします。
- ・清掃箇所は、①シンク周り、②換気扇、③トイレ、④洗面所、⑤お風呂、⑥窓ガラス、⑦ガラスサッシのみです（①～⑦以外の作業はお受けできません）。
- ・清掃時間は8時～12時（午前）又は13時～17時（午後）のどちらか半日です。



自己負担は、いくらくらいになりますか？

個人負担はありません（無料）。

申込みは、いつまでにすればよいですか？

9月18日（火）から85件に達するまで、随時受け付けます。早めにお申し込みください。手帳に記載された内容をお尋ねしますので、手元に準備して下記にお電話ください。

申込みや問合せ

曾於市社会福祉協議会 本所 ☎ 0986-72-0460・72-0480（担当）森山
末吉支所 ☎ 0986-76-2224（担当）富田・大石 大隅支所 ☎ 099-482-3013（担当）渡邊

たくさんの方の善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切に使用させていただきます。

なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（平成30年7月1日～8月31日）

財部地区

中川晴雄 下正ヶ峯
上丸良臣 七ヶ村
今西愛子 西ヶ村
三好久夫 下中野
松村すみ子 通山
山下トミ子 新正ヶ峯



末吉地区

西幸光 徳留
寶来政和 谷野
松ヶ野秋子 仮屋
中西博之 鶴木
徳元キミ子 陣之山
久永常己 原口西
原口則夫 東高松
和田美知子 東法楽寺
中山恵子 六町西
佐野フヂ子
福丸一男
匿名1件

大隅地区

竹元正市 境迫
松尾正文 大久保
神宮司マリ子 森園
坂口徹平 広津田
豊永慶子 東鍋
川畑伊佐夫 あげぼの
酒匂益雄 新原
津留ユミ子 下岡別府
川原田優 上馬場
岩松寿 新田場
鶴田悟 川路山
逆瀬川静雄 桂

一般寄附金品（敬称略）（平成30年7月1日～8月31日）

財部地区

前田重治 都城市 8,000円

末吉地区

匿名 1件

大隅地区

大隅町長寿クラブ女性部 雑巾27枚

編集後記

まだまだ毎日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、地球の異変を感じる出来事が多く起こりました。豪雨災害、辛く長い酷暑、特に異変を感じたのは台風です。下から捲き上げるように上がって一回転する台風の進路には驚くばかりでした。

さて、このような酷暑を乗り切る私の方法ですが、よく食べ、よく飲み、よく眠ることです。あともう一つは「よく呑む」ことなのですが、これは脱水の原因となるので、あまり飲みすぎは好ましくないようです。しばらくは暑い日が続きますが、負けないう頃頃から体調管理に取り組んで行きたいものです。

K・T